

第77期

KISSEI REPORT

中間報告書 2021.4.1-2021.9.30

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
剰余金の配当の基準日	期末配当 毎年3月31日 中間配当 毎年9月30日
定時株主総会基準日	毎年3月31日
株主名簿管理人 特別口座 口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同 連 絡 先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 電話 0120-232-711 (通話料無料)
同 郵 送 先	〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
公 告 方 法	電子公告 電子公告掲載 URL https://www.kissei.co.jp/ ただし、電子公告によることができない事故その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載して行います。
上 場 取 引 所	東京証券取引所 市場第1部

【お知らせ】

ご注意

- 株主様の住所変更、配当金の振込のご指定、単元未満株式の買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店で支払いいたします。



見やすいユニバーサルデザイン
フォントを採用しています。



白馬三山とナナカマド



独創的な新薬を研究開発し、
世界の人びとの健康に貢献します。

代表取締役会長
最高経営責任者

神津陸雄

株主の皆様には日頃より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

ここに当社第77期第2四半期（2021年4月1日から2021年9月30日まで）の事業の概況をご報告させていただきます。

今後とも、株主の皆様の一層のご指導、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

経営ビジョン

世界の人びとの健康に
貢献できる独創的な
医薬品を開発し提供する
創薬研究開発型企業を目指す

当期の概要

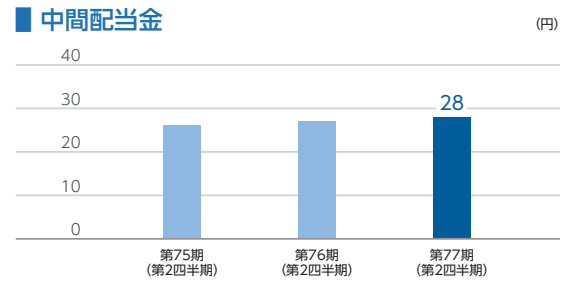
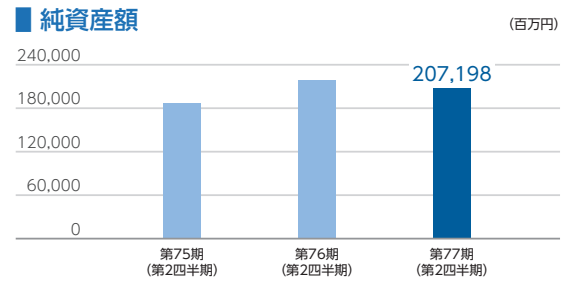
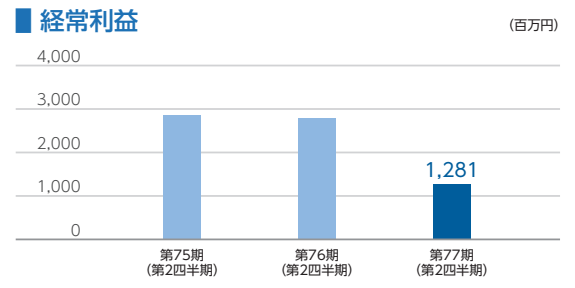
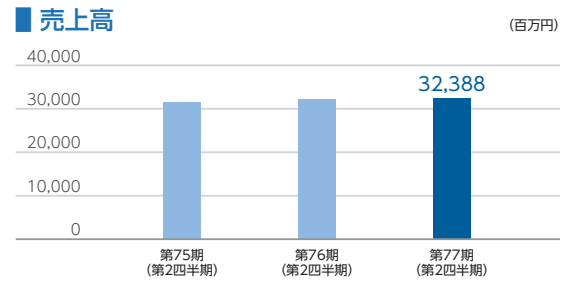
当第2四半期連結累計期間における医薬品業界は、薬価制度改革をはじめとする医療費抑制策の一環として、昨年4月の薬価改定に続き、本年4月にも薬価の中間年改定が実施されるなど、引き続き厳しい経営環境のもとに推移しております。また、情報サービス業界、建設請負業界、物品販売業界におきましては、新型コロナウイルス感染症の影響の長期化などにより、IT投資が加速化する一方で設備投資への慎重な姿勢が継続し、また、足元の個人消費も回復基調にまでは至っておらず、依然として厳しい競争環境下にありました。

このような情勢の中で、当第2四半期連結累計期間の売上高は32,388百万円（前年同期比0.3%増）、営業利益は270百万円（前年同期比86.8%減）、経常利益は1,281百万円（前年同期比53.9%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は5,666百万円（前年同期比28.9%増）となりました。

利益面では、売上原価率の上昇、研究開発費を主とした販売費及び一般管理費の増加などにより、営業利益及び経常利益は減益となりました。一方、親会社株主に帰属する四半期純利益につきましては、投資有価証券売却益の計上などにより増益となりました。

なお、収益認識会計基準等の適用により、従前の会計処理と比較して、営業利益、経常利益はそれぞれ583百万円減少しております。

第2四半期業績推移



通期の見通し

連結業績見通し (単位：百万円)

	第76期 2021年3月期実績	第77期 2022年3月期見通し	対前期 増減額	増減率 (%)
売上高	69,044	65,400	△3,644	△5.3
営業利益	1,505	△1,600	△3,105	-
経常利益	3,476	300	△3,176	△91.4
親会社株主に帰属する 当期純利益	5,285	11,900	6,615	125.2

(注) 収益認識会計基準等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しているため、上記表中及び下記文章中に記載している増減率、前年度比は参考値です。

●売上高

当初見通しより1,900百万円増額の65,400百万円（前年度比5.3%減）に修正いたします。

当第2四半期連結累計期間の業績、ならびに現況を加味した見直しを行いました結果、医薬品事業におきまして1,600百万円の増額、情報サービス事業におきまして900百万円の増額、建設請負事業におきまして700百万円の減額、物品販売事業におきまして100百万円の増額といたしました。

●利益

当第2四半期連結累計期間におきましては、当初計画と比べ、売上高の増加と売上原価率の低減に加え、海外提携先へのマイルストーン支払いタイミングの繰延べなどにより販売費及び一般管理費が減少いたしましたことなどから、営業利益、経常利益及び親会社株主に帰属する四半期純利益は当初見通しを上回りました。年度後半では、売上原価率の当初計画からの減少を見込んでおります一方、年度前半から繰延べられた海外提携先へのマイルストーン支払いの計上などにより、販売費及び一般管理費は増加を見込んでおります。

通期の利益見通しにつきましては、営業利益は当初見通しより1,000百万円増額の△1,600百万円（前年度比- %）、経常利益は当初見通しより1,600百万円増額の300百万円（前年度比91.4%減）、親会社株主に帰属する当期純利益は当初見通しより8,600百万円増額の11,900百万円（前年度比125.2%増）の見通しであります。なお、年度後半の営業外損益ならびに特別損益におきましては、投資有価証券売却益として10,000百万円の特別利益を見込んでおります。

研究開発の状況

当社の取り組み

経営ビジョンである「世界の人びとの健康に貢献できる独創的な医薬品を開発し提供する創薬研究開発型企業を目指す」の実現のため、研究開発における重点領域を定め、積極的に研究開発投資を行うことにより、新薬創出と開発の加速を図っております。また、安定的な海外収益基盤の構築に向けて、創製品の技術導出による国際展開を推進しております。

本年2月に承認申請を行いました、ビフォー・フレゼニウス・メディカル・ケア・リーナル・ファーマ社（スイス）より技術導入いたしました顕微鏡的多発血管炎・多発血管炎性肉芽腫症治療薬アバコパン（一般名、開発番号：CCX168）の製造販売承認を本年9月に取得いたしましたことから、薬価基準収載後に製品名「タブネオスカプセル10mg」として販売を開始するための準備を進めております。また、本年5月には、EAファーマ株式会社と共同開発を行っております潰瘍性大腸炎治療薬カロテグラストメチル（一般名、開発番号：AJM300）につきまして、同社から承認申請が行われました。

当社がライジェルファーマシューティカルズ社（アメリカ）より技術導入し、国内にて第Ⅲ相臨床試験を実施中の慢性特発性血小板減少性紫斑病治療薬ホスタマチニブ（一般名、開発番号：R788）につ

して、本年6月には韓国における開発権及び販売権をJWファーマシューティカル社（韓国）に、本年8月には中国（香港・マカオを含む）における開発権及び販売権をインマジンバイオフィーマシューティカルズ社（中国）に、それぞれ許諾するサブライセンス契約を締結いたしました。

このほか、当社の創製品であります、子宮筋腫・子宮内膜症治療薬リンザゴリクス（一般名、開発番号：KLH-2109）につきまして、本年9月に、中国における独占的な開発権及び販売権をバイオジェニユイン社（中国）に許諾する契約を締結いたしました。また、リンザゴリクスにつきましては、日本などの一部のアジアを除く全世界における技術導出先でありますオブシーバ社（スイス）により、本年9月に、子宮筋腫を適応症として米国食品医薬品局（FDA）に承認申請資料を提出いたしました。



中央研究所（長野県安曇野市）



製剤研究所（長野県安曇野市）



第二研究所（長野県安曇野市）



上越化学研究所（新潟県上越市）

●自 社

(2021年11月現在)

製品名 ／一般名 ／開発番号	予定適応症	主な作用等	開発段階	開発区分
タブネオス® ／アバコパン	顕微鏡的多発血管炎、 多発血管炎性肉芽腫症	選択的C5a受容体拮抗作用	承認取得	導入品／ビフォー・フレゼニウス・メディカル・ケア・リーナル・ファーマ（スイス）
カロテグラストメチル ／AJM300	潰瘍性大腸炎	α4インテグリン阻害作用	承認申請中	導入品／EAファーマ 共同開発
ロバチレリン ／KPS-0373	脊髄小脳変性症	甲状腺刺激ホルモン放出 ホルモン（TRH）作用	申請準備中	導入品／塩野義製薬
ホスタマチニブ ／R788	慢性特発性血小板減少性紫斑病	チロシンキナーゼ阻害作用	第Ⅲ相	導入品／ライジェルファーマシューティカルズ （アメリカ）
ジフェリケファリン ／MR13A9	透析患者におけるそう痒症	κオピオイド受容体刺激作用	第Ⅲ相	導入品／丸石製薬 共同開発
CG0070	筋層非浸潤性膀胱がん	腫瘍溶解性ウイルス療法	第Ⅲ相	導入品／CGオンコロジー（アメリカ）
リンザゴリクス ／KLH-2109	子宮内膜症	GnRHアンタゴニスト	第Ⅱ相	創製品
KDT-3594	パーキンソン病	ドパミン受容体刺激作用	第Ⅱ相	創製品
KSP-0243	炎症性腸疾患		第Ⅰ相	創製品

●導 出

(2021年11月現在)

一般名／開発番号	予定適応症	主な作用等	実施国・地域	提携企業	開発段階
リンザゴリクス (linzagolix)	子宮筋腫	GnRHアンタゴニスト	欧州、米国	オブシーバ（スイス）	承認申請中
	子宮内膜症		欧州、米国		第Ⅲ相
	子宮筋腫、子宮内膜症		中国	バイオジェニユイン（中国）	臨床試験 準備中
シロドシン (silodosin)	前立腺肥大症に伴う排尿障害	α1Aアドレナリン受容体拮抗作用	ベトナム、他	エーザイ（日本）	承認申請中
KDT-3594	パーキンソン病	ドパミン受容体刺激作用	中国、他	アフアメドセラピューティクス （中国）	第Ⅱ相
ベドラドリン (bedoradrine)	喘息の急性発作	β2アドレナリン受容体刺激作用	米国	メディシノバ（アメリカ）	第Ⅱ相
ホスタマチニブ (fostamatinib)	慢性特発性血小板減少性紫斑病	チロシンキナーゼ阻害作用	韓国	JWファーマシューティカル （韓国）	臨床試験 準備中
			中国、他	インマジンバイオフィーマ シューティカルズ（中国）	臨床試験 準備中

事業別の概況

医薬品事業

当第2四半期の医薬品事業の売上高は、26,968百万円（前年同期比5.0%減）となりました。前連結会計年度に引き続き、コロナ禍において感染防止に十分配慮した上での医薬情報活動の中、過活動膀胱治療薬「ベオーバ錠」、男性における夜間多尿による夜間頻尿治療薬「ミニリンメルトOD錠25μg/50μg」、夜尿症・中枢性尿崩症治療薬「ミニリンメルトOD錠60μg/120μg/240μg」及び「デスマプレシン製剤」などの売上が増加いたしました一方、本年4月に実施されました薬価改定の影響及び輸出売上が減少いたしましたことなどにより、減収となりました。なお、株式会社三和化学研究所との間で日本国内におけるコ・プロモーション契約を締結いたしました二次性副甲状腺機能亢進症治療薬「ウパシタ静注透析用シリンジ」につきましては、本年8月に同社より新発売となりました。

なお、収益認識会計基準等の適用により、従前の会計処理と比較して、医薬品事業の売上高は599百万円減少しております。



情報サービス事業・建設請負事業・物品販売事業

情報サービス事業の売上高は3,755百万円（前年同期比56.7%増）、建設請負事業の売上高は1,351百万円（前年同期比14.6%増）、物品販売事業の売上高は313百万円（前年同期比0.2%減）となりました。

なお、収益認識会計基準等の適用により、従前の会計処理と比較して、情報サービス事業の売上高は67百万円増加、建設請負事業の売上高は376百万円増加、物品販売事業の売上高は138百万円減少しております。



製商品のご紹介

主な医療用医薬品

泌尿器科用薬剤

- ・ベオーバ錠 過活動膀胱治療薬
- ・ミニリンメルト、他* デスマプレシン製剤
- ・ユリーフ 排尿障害改善薬

腎・透析科用薬剤

- ・ピートル 高リン血症治療薬
- ・エポエチンアルファBS注JCR 腎性貧血治療薬
- ・ダルベポエチンアルファBS注JCR 腎性貧血治療薬
- ・フルスタン錠 活性型ビタミンD₃製剤

代謝内分泌科用薬剤

- ・グルベス 糖尿病治療薬
- ・グルファスト 糖尿病治療薬
- ・マリゼパ錠 糖尿病治療薬
- ・ベザトールSR錠 高脂血症治療薬

産婦人科用薬剤

- ・ウテメリン 切迫流・早産治療薬
- ・ゾラデックス1.8mgデポ 子宮内腺症治療薬

眼科用薬剤

- ・リザベン点眼液 アレルギー性結膜炎治療薬
- ・リズモンTG点眼液 緑内障・高眼圧症治療薬

その他の薬剤

- ・サラジエン 口腔乾燥症状改善薬
- ・レクタブル注腸フォーム 潰瘍性大腸炎治療薬
- ・リザベン アレルギー性疾患治療薬
- ・ガスコン 消化管内ガス駆除剤

主なヘルスケア食品

介護・高齢者向け食品

- ・新スルーキング i
- ・のみや水
- ・おかゆケアスルー

エネルギー補給食品

- ・カップアガロリー

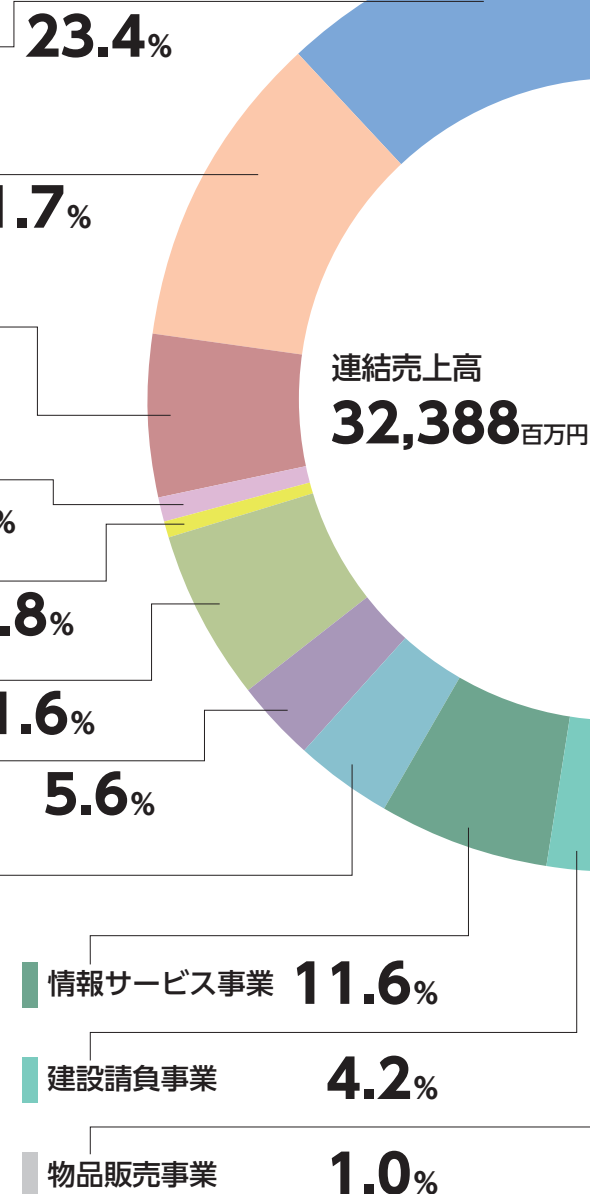
たんぱく質調整食品

- ・ゆめごはん

栄養補助食品

- ・えねぱくゼリー

*ミニリンメルトOD錠25μg/50μg/60μg/120μg/240μg、デスマプレシン点鼻液0.01%協和、デスマプレシン・スプレー2.5協和/10協和、デスマプレシン注4協和



連結財務諸表

●四半期連結貸借対照表

				(単位：百万円)			
科目	前第2四半期 (2020年9月30日現在)	当第2四半期 (2021年9月30日現在)	前期 (2021年3月31日現在)	科目	前第2四半期 (2020年9月30日現在)	当第2四半期 (2021年9月30日現在)	前期 (2021年3月31日現在)
(資産の部)				(負債の部)			
流動資産	91,598	95,595	92,965	流動負債	15,639	20,565	18,245
固定資産	174,883	155,461	175,895	固定負債	31,804	23,292	30,662
				負債合計	47,444	43,857	48,907
有形固定資産	24,271	24,328	24,290	(純資産の部)			
無形固定資産	1,514	1,592	1,640	株主資本	146,618	147,890	144,941
投資その他の資産	149,097	129,540	149,964	その他の包括利益累計額	71,898	58,620	74,373
				非支配株主持分	520	688	638
資産合計	266,481	251,056	268,861	純資産合計	219,037	207,198	219,953
				負債純資産合計	266,481	251,056	268,861

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

●四半期連結損益計算書

				(単位：百万円)			
科目	前第2四半期 (2020年4月1日から 2020年9月30日まで)	当第2四半期 (2021年4月1日から 2021年9月30日まで)	前期 (2020年4月1日から 2021年3月31日まで)	科目	前第2四半期 (2020年4月1日から 2020年9月30日まで)	当第2四半期 (2021年4月1日から 2021年9月30日まで)	前期 (2020年4月1日から 2021年3月31日まで)
売上高	32,284	32,388	69,044	営業活動によるキャッシュ・フロー	△1,262	931	△2,542
売上原価	16,188	16,924	36,322	投資活動によるキャッシュ・フロー	△8,669	5,280	△9,329
売上総利益	16,096	15,463	32,722	財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,288	△1,300	△4,000
販売費及び一般管理費	14,051	15,193	31,217	現金及び現金同等物に係る換算差額	△0	0	0
営業利益	2,044	270	1,505	現金及び現金同等物の増減額	△11,221	4,912	△15,872
営業外収益	758	1,033	2,154	現金及び現金同等物の期首残高	59,319	43,447	59,319
営業外費用	22	21	183	現金及び現金同等物の 四半期末(期末)残高	48,098	48,359	43,447
経常利益	2,780	1,281	3,476				
特別利益	2,940	6,634	4,087				
特別損失	9	642	87				
税金等調整前 四半期(当期)純利益	5,711	7,273	7,476				
法人税、住民税及び事業税	969	1,837	1,510				
法人税等調整額	340	△279	587				
四半期(当期)純利益	4,401	5,715	5,378				
非支配株主に帰属する 四半期(当期)純利益	4	49	93				
親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益	4,396	5,666	5,285				

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

●四半期連結キャッシュ・フロー計算書

				(単位：百万円)			
科目	前第2四半期 (2020年4月1日から 2020年9月30日まで)	当第2四半期 (2021年4月1日から 2021年9月30日まで)	前期 (2020年4月1日から 2021年3月31日まで)	科目	前第2四半期 (2020年4月1日から 2020年9月30日まで)	当第2四半期 (2021年4月1日から 2021年9月30日まで)	前期 (2020年4月1日から 2021年3月31日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	△1,262	931	△2,542	現金及び現金同等物の増減額	△11,221	4,912	△15,872
投資活動によるキャッシュ・フロー	△8,669	5,280	△9,329	現金及び現金同等物の期首残高	59,319	43,447	59,319
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,288	△1,300	△4,000	現金及び現金同等物の 四半期末(期末)残高	48,098	48,359	43,447
現金及び現金同等物に係る換算差額	△0	0	0				

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。

TOPICS

当社創製品GnRH (ゴナドトロピン放出ホルモン) アンタゴニスト「リンザゴリクス」の海外展開

オブシーバ社による子宮筋腫を対象とした米国食品医薬品局 (FDA) への新薬承認申請資料提出

2021年9月にオブシーバ社(スイス)は、当社から2015年に日本など一部のアジアを除く全世界における独占的開発・販売権を許諾されていたリンザゴリクスについて、FDAに子宮筋腫治療に対する新薬承認申請資料を提出したことを公表しました。

同社が実施した子宮筋腫患者さんを対象とした第Ⅲ相臨床試験で、アドバック療法(ABT)*を併用した場合としない場合の100mg及び200mgの用量について、52週間投与した後24週間までの合計76週間における検討を行い、主要評価項目である過多月経の改善の達成と良好な忍容性が確認されました。これらの試験結果を基に、今回の申請資料の提出が行われました。

バイオジェニューイン社への技術導出契約締結

2021年9月に当社は、リンザゴリクスについて、中国における開発及び販売権をバイオジェニューイン社(中国)に許諾する契約を締結したことを公表しました。本契約により、当社はバイオジェニューイン社に対して、中国における開発及び販売のための独占的権利を許諾し、この対価として、当社は同社より契約一時金、開発の進捗に応じたマイルストーン及び製品販売に伴うマイルストーン、並びにロイヤルティの支払いを受けるとともに、同社に原薬を供給します。

今回のライセンスアウトにより、欧米に加えてリンザゴリクスの中国における開発が推進されることとなります。

*アドバック療法(ABT)：リンザゴリクスを含むGnRHアンタゴニスト製剤を投与すると血液中のホルモンであるエストロゲンが下がり、下がり過ぎると骨塩量が低下します。欧米での子宮筋腫治療ではエストロゲンが下がり過ぎた場合、エストロゲンを投与して血中濃度を調整する処置が行われ、これをアドバック療法(ABT)といいます。

選択的C5a受容体拮抗薬「タブネオス®カプセル10mg」の日本における製造販売承認取得

2021年9月に当社は、選択的C5a受容体拮抗薬「タブネオス®カプセル10mg」(一般名：アバコパン、以下「タブネオス」)について、厚生労働省より国内における製造販売承認を取得しました。

タブネオスは、抗好中球細胞質抗体(ANCA)関連血管炎に分類される顕微鏡的多発血管炎(MPA)、多発血管炎性肉芽腫症(GPA)に対し、C5a受容体拮抗作用により治療効果を発揮する、ファーストインクラスの経口剤です。当社は、2017年6月に、ビフォー・フレゼニウス・メディカル・ケア・リーナル・ファーマ社(スイス、以下「VFMCRP社」)より、日本における独占的開発・販売権を取得していました。その後、創製元であるケモセントリクス社(米国)がスポンサーとして実施した国際共同第Ⅲ相臨床試験に、VFMCRP社とともに参画し、良好な結果を得たことから、MPA及びGPAを適応症として、2021年2月に製造販売承認申請を行っていました。なお、タブネオスは、2019年3月に、厚生労働大臣より希少疾病用医薬品の指定を受けています。また、海外においては、米国ではケモセントリクス社が、欧州ではVFMCRP社が、それぞれ承認申請中*であり、世界に先駆けて日本での製造販売承認取得となりました。

当社は、ANCA関連血管炎ならびにタブネオスに関する情報提供活動を的確に行うために、2021年4月にリアディージェブプロジェクトを設置しました。タブネオスを円滑に流通させ、適正使用を推進することで、MPA及びGPAの治療に一層貢献できるような努めてまいります。

*ケモセントリクス社は、2021年10月に米国での承認を取得したことを公表しました。

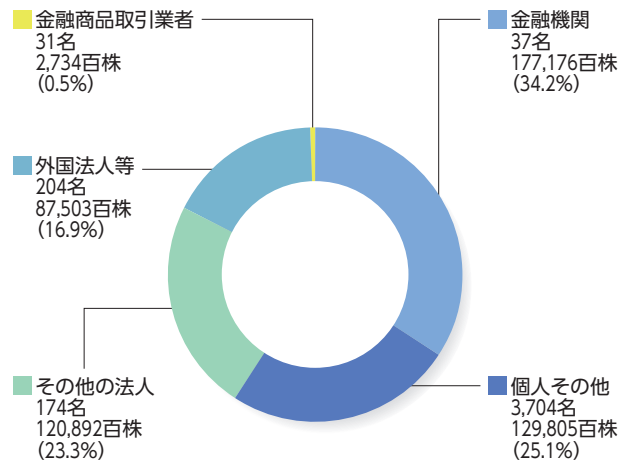
株式の状況 (2021年9月30日現在)

発行可能株式総数 227,000,000株
 発行済株式の総数 51,811,185株
 株主数 4,150名 (前期末比92名増)
 大株主

株主名	持株数	持株比率
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	44,263百株	9.6%
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	29,621	6.4
第一生命保険株式会社	28,856	6.3
株式会社八十二銀行	23,333	5.1
有限会社カンザワ	16,782	3.6
神澤陸雄	15,418	3.3
NORTHERN TRUST CO. (AVFC) SUB A/C USL NON-TREATY	13,733	3.0
キッセイグループ従業員持株会	12,847	2.8
株式会社みずほ銀行	12,334	2.7
鋼林株式会社	12,223	2.7

(注) 1. 当社は自己株式5,695,284株を保有しておりますが、上記大株主には記載しておりません。
 2. 持株比率は自己株式を控除して計算しております。

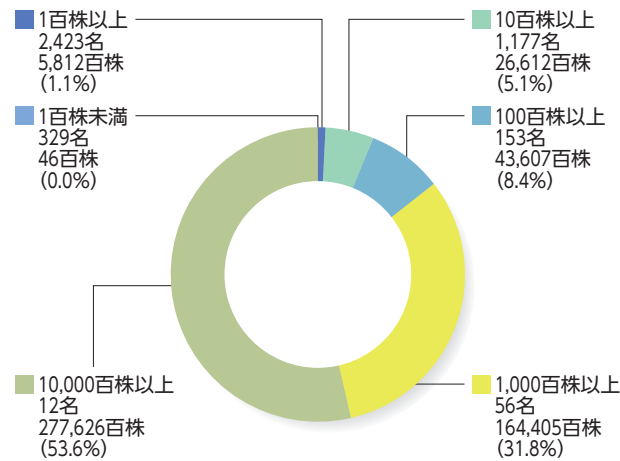
●所有者別分布



●株価チャート



●所有株数別分布



会社概要 (2021年9月30日現在)

社名 **キッセイ薬品工業株式会社**
 英文社名 KISSEI PHARMACEUTICAL CO., LTD.
 設立 1946年(昭和21年)8月9日
 資本金 24,356,653,478円
 主要な事業内容 医療用医薬品の研究・開発・製造・販売
 従業員数 1,438名

事業所 本社
 〒399-8710
 長野県松本市芳野19番48号
 電話 (0263) 25-9081
 東京本社
 〒103-0022
 東京都中央区日本橋室町一丁目8番9号
 電話 (03) 3279-2761
 東京本社(小石川)
 〒112-0002
 東京都文京区小石川三丁目1番3号
 電話 (03) 5684-3530

支店
 北海道支店、東北支店、関東支店、東京支店、
 神奈川支店、松本支店、東海北陸支店、関西支店、
 中四国支店、九州支店
 (支店の下に48営業所を設置)

工場
 松本工場(長野県松本市)
 塩尻工場(長野県塩尻市)
 研究所
 中央研究所・第二研究所・製剤研究所(長野県安曇野市)
 上越化学研究所(新潟県上越市)

ヘルスケア事業センター
 (長野県塩尻市)

●役員

代表取締役会長	神澤陸雄	取締役	相良純徳
代表取締役社長	降旗喜男	取締役	北原孝秀
取締役副社長	佐藤公衛	社外取締役	清水重孝
専務取締役	福島敬二	社外取締役	野村稔
常務取締役	竹花泰雄	社外取締役	内川小百合
常務取締役	高山哲	常勤監査役	伊佐治正幸
取締役相談役	両角正樹	監査役	米窪真人
取締役	松下英一	社外監査役	中川寛道
取締役	菊池伸次	社外監査役	岩淵道男

Information



ホームページのご案内
 当社のホームページにて、タイムリーな情報を提供しております。是非アクセスしてください。

<https://www.kissei.co.jp/>



統合報告書 2021 Annual Report 2021

企業の財務情報と非財務情報を統合して年次報告する「統合報告書」及びその英語版である「Annual Report」をホームページに掲載しております。



資料請求のご連絡先：広報部 TEL：(0263) 25-9523
 (土・日・祝日、当社休日を除く月～金 8：40～17：20)